

## 水産業強化支援事業事後評価報告書

作成部署名: 岩手県農林水産部水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	30-3
事業実施主体	岩泉町	
実施地区名	岩泉町	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	30年度	30年度
交付金額	676,000円	
事業計画の内容	安家川におけるヤマメ、ウグイ等水産資源の回復手法等の検討に資するための資源量及び生育環境調査	
評価	成果目標	
	現状値	内水面水産資源の調査(資源量調査及び生息環境調査):16回 (平成30年度末時点)
	目標値	内水面水産資源の調査(資源量調査及び生息環境調査):15回 (平成30年度末)
	(1)現状値の説明	岩手大学への委託により実施した内水面水産資源の調査(資源量及び生息環境調査)の実績値
	(2)地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	(3)所見	平成30年度の調査では、魚類に関しては資源量が安定しており、平成28年の台風の後に見られた肥満度の低下からの回復が確認された。一方、底生生物相の構成からは、台風による攪乱からの回復が完全になされていないことが示唆された。生物種により環境から受ける影響は異なり、攪乱などからの回復過程も異なる事から、河川環境及び生物資源の状態を継続的に把握し適切な資源管理を行っていく必要がある。
(4)評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析	河川環境及び生物資源の状態を把握し、適切な資源管理を行っていくために、今後も調査を継続する必要がある。	

## 水産業強化対策事業事後評価報告書

作成部署名: 岩手県農林水産部水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	30-4
事業実施主体	岩手県	
実施地区名	岩泉町、野田村、花巻市	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	30年度	30年度
交付金額	2,796,000円	
事業計画の内容	サクラマス資源を回復させる方法の開発(産卵床調査及び放流効果調査)	
評価	成果目標	
	現状値	内水面水産資源の調査(産卵床調査:6回、稚魚放流効果調査:12回) (平成30年度末時点)
	目標値	内水面水産資源の調査(産卵床調査:3回、稚魚放流効果調査:6回) (平成30年度末)
	(1)現状値の説明	岩手県内水面水産技術センターが行った産卵床調査及び稚魚放流効果調査の実績値
	(2)地域への経済効果 (ハード事業のみ)	
	(3)所見	産卵床調査の結果から、安家川では平成28年の台風被害からの回復がみられるものの、平成30年度も台風の影響が続いているものと考えられた。また、豊沢川では稚魚放流により産卵床数が増加していると考えられたため、稚魚放流によりサクラマス遡上数が増加していると考えられた。サクラマス資源の回復には、資源状態を把握するとともに、環境変化や稚魚放流などの要因が資源に与える影響を評価し、効果的な放流手法を検討していく必要がある。
	(4)評価機関の意見等	
今後の改善方向等に関する分析	資源量を把握していくとともに、環境変化や稚魚放流が資源に与える影響を評価し、効果的な放流手法を検討するために、今後も調査を継続する必要がある。	